



「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成」

子育て四訓の教えから

「子育ての心得」として知られる「子育て四訓」という教えがあります。これを提唱されたのは、山口県下関市の教育者である緒方 甫さんという方です。子どもの自立を促すために、発達段階に応じて親と

子育て四訓

- 1 乳児はしっかり肌を離すな
- 2 幼児は肌を離せ、手を離すな
- 3 少年は手を離せ、目を離すな
- 4 青年は目を離せ、心を離すな

子どもの距離を離していくこと。そんな親としての姿を分かりやすい言葉で教えてくれています。小学校入学時から考えてみましょう。小学校低学年の子ども達は、様々な場面で大人が「手」をかける必要があります。しかしながら、これをいつまでも行っていると自立につながりません。そこで、少しずつ大人が手を離し、子どもに任せる部分を多くしていきます。中学年になる頃には一人でできることも多くなり、任せる部分が随分増えてきますが、いつでも必要なサポートがで

きるように注意深く見守る（「目」をかける）ことが大切です。これは高学年・中学生の子ども達も同様です。そして、子ども達が親元を離れていけば、目をかけることもできなくなります。しかし、安心できる心の居場所を作る（「心」をかけていく）必要があるということです。もちろん、子どもの発達は様々であり、この通りにいくわけではありません。ただ、親として、そして子どもの成長に携わる大人として、大切にしたい視点だと考えています。つまり、小学校6年間でかけるべき大切なものは「手」と「目」ということになるでしょう。

我が子が補助輪なしの自転車に乗る練習をしていた頃のことを思い出します。補助輪を外した直後はハンドルをがっちり持って転ばないようにしたり、次に後ろに軽く手を添えて一緒に走りながら付いてみたり、軌道に乗って進み出したら手を離し転んだら駆けつけたり……。当分かかるなあとと思いながら何度も練習すると、あっという間に自走できるようになります。そう思うと、「手をかけたり目をかけたり」できる時間はそう長くありません。今のうちにしっかり、「目」を（低学年は手も）かけてあげてください。

2月・3月のおもな行事予定

- 2月 4日(水) 一日入学
18日(水) 参観日、学級懇談会
CS会議
27日(金) 6年生を送る会

- 3月10日(火) 1・2年4校時、
3～6年5校時授業
(16日まで)
17日(火) 卒業式準備
6年生給食終了
18日(水) 卒業証書授与式
19日(木) 給食終了
24日(火) 修了式
30日(月) 離任式



不審者対応防犯学習(1/20)

米川駐在所の城所長様と少年安全サポーターの綾香様をお迎えし、2校時と3校時の間の「せんだん(休憩)」に避難訓練を行いました。児童が運動場で遊んでいる中、正門から不審者が進入し児童は校舎内の鍵のかかる教室に避難するという訓練です。運動場にいた児童は、いち早く職員室に知らせ、無事に教室に避難することができました。教職員は、警察官が到着するまでの間の対応の仕方や刺股の使い方、110番通報・校内放送のタイミングや内容などを指導していただきました。その後のご指導の中で、登下校中や校内でも出会う人に挨拶をすることで不審者から守られるというお話がありました。日頃からしっかり挨拶の声を響かせ、明るい米川地域にしたいものです。



図書委員会のイベント「本探し」(1/27)



寒い時期ですが、子ども達は運動場でサッカーや長縄跳び、一輪車と思いに遊んでいます。その代わりに、図書室はいつもひっそりしています。「もう少し図書室を利用してほしい」「本を借りてほしい」という図書委員の思いから、このイベントが行われました。図書室は大盛況!本を探し当てるとご褒美のしおりを作れます。市立図書館で貸し出しランキングトップの本もちゃんとあります。図書室利用が増えるとうれしいですね。

3校合同学習(3回目)

子ども達が楽しみにしている川上小、修成小との合同学習の3回目が行われました。1・2年生は川上小で英語遊びと生活科「昔の遊び」を、3・4年生は米川小で外国語活動と図工を、5・6年生は米川小で外国語と体育を学習しました。



いつも給食をありがとう(1/23)

周東中学校の田原栄養教諭が来られ、魚の脂のいいところについての話がありました。また、米川小はいつも残食がないと褒めていただきました。最後に暑い日も寒い日もおいしい給食を作ってくださっている給食センターの皆さんに感謝の手紙を渡しました。



1・2年生算数科の授業研究(1/28)

1年生は「大きいかず」2年生は「100cmをこえる長さ」でした。1年生はホワイトボードに説明を書き発表し、2年生は説明を書いた上に仲間分けもできました。立派な授業態度に1年間の成長を感じました。進級しても楽しみな1・2年生でした。

